

イネカメムシ防除の徹底をお願いします！

昨年、海部地域(特に海部南部地域)で「イネカメムシ」が大量に発生し、多くのほ場で被害が発生しました。また、大量発生したイネカメムシが当地域で越冬していることが確認されており、適切な防除を実施しないと、本年も甚大な被害が起きる可能性があります。被害を抑えるためには、地域一体となって適切なイネカメムシ防除を実施していただくことが重要なので、御協力いただくようお願いします。

【イネカメムシについて】

イネカメムシは、従来の斑点米カメムシ類と異なり、加害作物は基本的には「イネのみ」で、開花直後の穂を特に好みます。また、水稻の籾の基部を加害することにより、不稔籾(しいな)を発生させて、収量の減少を引き起こします。

近年、イネカメムシの発生は全国的に拡大傾向です。被害が拡大している要因は、気候の変化や作付品種が多様化して防除適期が拡大したことが一因と考えられています。

【イネカメムシの効果的な防除方法】

イネカメムシに対して効果的な防除を行うためには、「薬剤の選定」と「適期の散布」が重要です。

◎薬剤の選定

当地域のイネカメムシは、一部の薬剤に効果の低下が確認されています。必ずJAの「令和6年産稲作こよみ」に記載された薬剤を選定してください。また、「粒剤」よりも「液剤」の方がまんべんなく薬剤が付着し防除効果が高い傾向があるため、可能ならば「液剤」散布をしてください。

◎適期の散布

イネカメムシは、他の斑点米カメムシ類防除よりも早い時期に薬剤散布する必要があります。液剤を使用する場合は「出穂期※」、粒剤を使用する場合は「出穂期7日前～出穂期」を目安に散布してください。液剤・粒剤ともに穂が出そろった時期の散布では遅いので注意してください。また、1回目の散布後もイネカメムシの発生が続く場合は、1回目の散布の10日後を目安に2回目の散布をしてください。

※出穂期：ほ場全体の茎の半分から穂の先端が出た状態です。



イネカメムシ成虫



イネカメムシ幼虫

稲穂に群がる
イネカメムシ越冬中のイネカメムシ
* 多い場所では50cm四方に
30頭近い越冬個体

「海部農業経営者の会」総会開催される

海部農業経営者の会は、4月30日にJAあいち海部北部営農センターで通常総会・情報交換会を開催しました。総会では全ての議案が承認され、新役員のもと本年度の事業が本格的に始動しました。また、新たに3名が農業経営士に認定され、自己紹介と抱負を語りました。

情報交換会では、市町村担当者も参加し会員同士の活発な意見交換が行われ、新会長の発議のもと、能登半島震災への義援金送金が決定されました。

農業改良普及課では、地域農業のリーダーである農業経営士の集団である海部農業経営者の会に対して引き続き支援していきます。



あいさつする佐藤新会長

農業者組織の役員紹介（敬称略）

役員の皆様、よろしく申し上げます

海部農業経営者の会

会長：佐藤 善昭（愛西市）
副会長：児玉 学（弥富市）
理事：鈴木 良法（あま市）
監事：加藤 丈晴（愛西市）
監事：荒川 淑威（飛島村）

海部青年農業士の会

会長：伊藤 清貴（愛西市）
副会長：村瀬 公一（弥富市）

農村生活アドバイザー海部支部

支部長：横井 清美（愛西市）
副支部長：渡邊 康子（愛西市）

農村輝きネット・海部

会長：笹野 明美（あま市）
副会長：加藤さゆみ（愛西市）

海部営農受託協議会

会長：古江 真人（弥富市）

愛知県立農業大学校 令和7年度学生募集

愛知県立農業大学校は、農業後継者や農業の担い手を育成する2年間の専修学校です。広大な施設で実践的な農業を学ぶことができます。Uターン就農希望者も歓迎します。

農学科：定員100名

専攻：鉢物・緑花木、切花、作物、果樹、露地野菜、施設野菜、酪農、養豚・養鶏

試験区分	出願期間	試験日
農業系高等学校後継者等特別推薦入学試験	令和6年9月10日(火)～9月13日(金)	令和6年9月30日(月)
一般推薦入学試験	令和6年9月30日(月)～10月16日(水)	令和6年11月1日(金)
一般入学一次試験	令和6年11月12日(火)～11月27日(水)	令和6年12月10日(火)
一般入学二次試験	令和7年1月10日(金)～1月27日(月)	令和7年2月13日(木)

【問い合わせ先】愛知県立農業大学校教育部学務科
〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2 ☎0564-51-1602
詳しい情報は農大HPから入手できます。
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



公式HP



Instagram



X(旧Twitter)